

## 第7回庁舎等基本計画策定審議会の質問に対する回答について（平成23年度実績）

### ①開架冊数

39,954冊

### ②視聴覚資料数

ビデオ／333点、DVD／92点、CD／212点、カセット／38点

### ③資料購入費[うち図書購入費]

・予算額600万円（雑誌購入費除く。）

（図書購入費5,985,276円／3,612冊購入）

同上内訳 市立図書館5,543,799円／3,207冊

下灘コミセン 441,477円／ 405冊

### ④図書館運営費

・正規職員の人件費除く決算額21,199,130円（うち賃金6,725,744円含む。）

### ⑤職員数[うち司書数]

・23年度3月末 正規職員2人（司書1人）、臨時職員3人（司書2人）、パート職員1人、派遣職員1人 合計7人（うち司書3人）

・24年度4月1日現在 嘱託職員1人、臨時職員3人（司書2人）、パート職員1人、派遣職員1人 合計6人（うち司書2人）

### ⑥イベント参加人数等の状況はどのようになっていますか？

《図書館》

- ・古典文学講座（20回）延370人 ・お話し会（12回）延110人
- ・親子映画会（2回）延14人 ・読む聞く遊ぶ展（9日間）延160人
- ・子ども科学実験教室（4回）延33人 ・読書週間イベント

《資料館》

- ・昭和写真展（30日間）延5,255人（来館者）
- ・トップランナー（30日間）延382人

### ⑦イベントの事業企画状況はどのようになっていますか？また誰が企画していますか？

今後の読書活動を推進するような大規模なイベントは企画していないので、職員で企画しています。

新館建設に合わせ、図書館利用や読書活動を誘発するイベントは、企画すべきと考えていますが、基本的には、職員及び実行委員会レベルでの企画で考えています。

### ⑧愛媛県子ども読書活動推進計画に基づく伊予市の計画は策定されていますか？

子ども読書活動推進に関する法律第9条第2項で、国の基本計画及び県の推進計画を基本に、市町村の子ども読書活動推進計画を策定するよう努めなければならないと規定していますが、伊予市では、計画を策定していません。そのため、今後なるべく早い時期に検討していきたいと考えています。

### ⑨ブックスタートの実施状況はどのようになっていますか？

伊予市では実施しておりませんが、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくり心触れ合うひと時を

持つきっかけをつくるブックスタートは、図書館においては、大変重要なことと認識しています。他市事例を見ると、出生届け時に窓口で絵本プレゼントや0歳児検診の折、保健センター・図書館職員が絵本やブックスタートパックを渡したり、絵本の相談をしているようです。本市においては、関係部署との連携により早期に実施すべきと考えており、子どもの成長に合わせたサービスの充実に努めたいと思っております。

⑩子ども読書サービスのための学校・公民館・児童館・幼稚園・保育所のネットワークはどのようになっていますか？

- ・団体貸出し制度により、要望のある団体には、1団体30冊、期限1ヶ月で貸出しを行っています。また、小学校（主に2年生）の図書館見学や中学校2年生の職場体験の受け入れを行っています。
- ・幼稚園・保育所などの子どもの保育・教育活動や行事に必要な図書資料の問い合わせに応じ対応しています。

⑪どんなボランティアがあり、どんな研修・養成を実施されていますか？

- ・児童や未就学児（保護者）対象のお話会をお世話いただいている、おはなし会のボランティアが2団体、図書等整理作業のボランティア1団体です。
- ・図書館独自の研修・養成講座は、実施していませんが、おはなし会の研修会・講座は、県立図書館で実施されているので、参加案内を行っています。

⑫サービス件数はどのようになっていますか？（レファレンスサービスについて）

- ・インターネット以外での来館・電話でのレファレンスサービスがありますが、来館者へのサービスで、ある程度時間を要するレファレンスサービスは、月3回程度と考えています。
- ・特に郷土の歴史・文化等（県も含め）に関するレファレンスサービスが多くなっています。

⑬どのような体制がとられていますか？

- ・当館で対応できないときは、県内公共図書館横断検索システムなどで検索し、県立図書館等を案内しています。

⑭自動車図書館サービス（ブックモバイル）の現状はどのようになっていますか？

- ・自動車文庫での配本は、毎月3日間行っています。登録している利用団体（グループ）は、現在8団体です。昨年度は、7団体（総員60名）で貸出し総数1,290冊、利用人数370人となりました。